

# 日本芸術文化振興会ニュース

Japan Arts Council News

PICK UP /

## 東京 国立劇場 (小劇場)

国立劇場では、伝統芸能伝承者の養成事業として、昭和45年に歌舞伎俳優研修を開始しました。以後、歌舞伎音楽の竹本、鳴物、長唄の課程を順次実施し、数多くの修了者を送り出しています。既成者研修発表会「稚魚の会・歌舞伎会合同公演」(歌舞伎俳優)、「音の会」(歌舞伎音楽)は、修了者や直接入門した既成者が日頃の研鑽の成果を発表する場として毎年8月に開催しています。

国立劇場歌舞伎音楽既成者研修発表会

### 第24回 音の会

8月6日(土)、7日(日) 11時開演 (13時30分終演予定)

料金 3,000円 販売 好評発売中

鳴物 常磐の庭  
長唄 秋色種  
義太夫 蝶の道行  
長唄 筑摩川



昨年の舞台より 長唄「楠公」

坂東 巳之助=監修  
坂東 三津之丞=振付  
義太夫 舞 団子売

協賛：松竹株式会社・一般社団法人伝統歌舞伎保存会

◎研修だよりに出演者のコメントを掲載しています。

国立劇場歌舞伎俳優既成者研修発表会

### 第28回 稚魚の会・歌舞伎会合同公演

8月12日(金)~16日(火) 13時開演 (16時終演予定)

料金 4,700円 販売 好評発売中

竹田出雲・三好松洛・並木千柳=作  
松本 白鸚=監修・指導  
松本 錦吾=監修・指導

### 双蝶々曲輪日記 二幕

堀江角力小屋の場  
八幡の里引窓の場



昨年の舞台より「新皿屋舗月雨暈一魚屋宗五郎一」

藤間 勘祖=振付

にわか 俄 獅子 長唄囃子連中

協賛：松竹株式会社・一般社団法人伝統歌舞伎保存会

◎研修だよりに出演者のコメントを掲載しています。

## 東京 国立演芸場

### 第460回 国立名人会

8月13日(土) (18時開演)

料金 3,300円  
販売 好評発売中

落語「棒鱈」  
古今亭 文菊  
落語「星野屋」  
五明樓 玉の輔  
落語「悲しみは埼玉に向けて」  
柳 家 小ゑん  
一伸入り—  
浮世節 立花家 橋之助  
落語「唐茄子屋政談」  
五街道 雲助



国立文楽劇場歌舞伎俳優既成者研修発表会

### 第32回 上方歌舞伎会

8月24日(水)~25日(木) (13時・17時開演)

料金 4,700円  
販売 好評発売中

片岡 我 當=監修  
片岡 仁左衛門=指導  
中村 鴈治郎=指導  
片岡 孝太郎=指導  
上村 吉 弥=指導  
いせおんどごいのねば  
伊勢音頭恋寝刃 一幕二場  
古市油屋店先の場  
同 奥庭の場  
藤間 豊 宏=振付  
のりあいぶねえ ほうまんざい  
乗合船恵方万歳 常磐津連中



協賛：松竹株式会社・一般社団法人伝統歌舞伎保存会

「上方歌舞伎会」は、関西の若手歌舞伎俳優有志による勉強会「若鮎の会」のメンバーにその他の上方系の俳優が加わり、新たな勉強の場として平成2年より国立文楽劇場で開催してまいりました。上方歌舞伎の継承を志す若い俳優達が、明日への糧として大きな役に挑みます。

チケット  
お申込み

国立劇場・国立演芸場・国立能楽堂・国立文楽劇場  
☎ 0570-07-9900/03-3230-3000[一部IP電話等] (10時~18時)  
国立劇場チケットセンター 検索

新国立劇場 ☎ 03-5352-9999 (10時~18時)

新国立劇場 検索

国立劇場おきなわ ☎ 098-871-3350 (10時~17時30分)

国立劇場おきなわチケットカウンター 検索



# 文化芸術活動に対する援助

独立行政法人日本芸術文化振興会では、芸術文化振興基金の運用益による助成事業と、国からの補助金(文化芸術振興費補助金)を財源とする助成事業を行っています。

## 今月のTOPICSはこちら



### ◆基金の目的

「芸術文化振興基金」は、すべての国民が芸術文化に親しみ、自らの手で新しい文化を創造するための環境の醸成とその基盤の強化を図る観点から、芸術家及び芸術に関する団体が行う芸術の創造又は普及を図るための活動、その他の文化振興又は普及を図る活動に対する援助を継続的・安定的に行います。

当基金は、政府から出資された541億円と民間からの出せん金165億円の計706億円を原資として、その運用益をもって文化芸術活動に対する助成に充てています。

### ◆助成対象活動の募集

助成対象活動の募集は、毎年度1回(国内映画祭等の活動は年2回)、公募により行います。具体的な募集の時期・方法、助成の対象となる活動等については、毎年度作成する募集案内で示します。

助成金の交付を希望する団体は、募集案内の定めるところにより、助成金交付要望書及び団体概要等を独立行政法人日本芸術文化振興会に提出いただきます。

### ◆助成対象活動の決定・助成金の交付

芸術文化振興基金運営委員会において応募活動に対する審査を行い、助成対象活動及び助成金の額が決定されます。採択された助成対象活動については、「芸術文化振興基金助成金交付要綱」の定めるところにより、所定の手続きを経て助成金が交付されます。

助成の対象となる活動	電話番号
音楽	03-3265-6338
舞踊	03-3265-6192
演劇	03-3265-6178
伝統芸能・大衆芸能	03-3265-6394
多分野	03-3265-6045
美術の創造普及活動	03-5213-4175
映画	03-3265-6312
地域文化施設公演・展示活動(文化会館公演)	03-5213-4169
地域文化施設公演・展示活動(美術館等展示)	03-5213-4174
アマチュア等の文化団体活動	03-5213-4164 4167
歴史的集落・町並み、文化的景観保存活用活動	03-5213-4172
民俗文化財の保存活用活動	03-5213-4172
伝統工芸技術・文化財保存技術の保存伝承等活動	03-5213-4172
劇場・音楽堂等機能強化推進事業	03-3265-6018

## 芸術文化振興基金ご支援(寄附)のお願い

芸術文化振興基金は、芸術・文化の振興又は普及を図るための活動に対する援助を継続的、安定的に行うことを目的として設立され、その運用益により、芸術文化団体等の活動に助成しています。皆様のご支援を頂きながら、活動を行っています。趣旨にご賛同頂き、格段の御協力、御支援をお願いいたします。

## 研修だより

### 「音の会」「稚魚の会・歌舞伎会合同公演」 出演者からのメッセージ

#### 【「音の会」出演者】

##### 柗屋巳喜助

(平成31年3月第7期長唄研修修了。  
尾上菊五郎劇団音楽部長唄。)

国立劇場養成課の研修課程を修了いたしました。2年目からコロナ禍となり、舞台上がらせていただく機会もめっきり少なくなりました。今回の「音の会」も貴重な機会を頂いたと思っております。また、この春に柗屋巳喜助とお名前を頂戴しましたので、その名に恥じないよう精一杯勤めたいと思います。

#### 【「合同公演」出演者】

##### 坂東家之助

(平成31年3月第23期歌舞伎俳優研修修了。市村家橋門下。)

「角力場」の放駒長吉を勉強させて頂くことになりました。「角力場」は「稚魚の会・歌舞伎会合同公演」でとりあげるの初めということもあり、非常に嬉しく思います。続いて「引窓」も上演するので、お客様にはより楽しんで頂けると思いますが、師匠方の教えを守り、しっかりと長吉を勤めたいです。

#### 片岡市也

(平成31年4月、片岡市蔵に入門。)

「引窓」の母お幸を勉強させて頂きます。お役が決まったことを諸先輩方にお話しした際、多くの方から「大変だから頑張つて」と言われ、今から戦々恐々としております。しかし、

日本芸術文化振興会では、伝統芸能の次代の担い手を養成するため、歌舞伎、文楽、能楽、大衆芸能、組踊の各分野で研修を行っています。

だからこそ母お幸を勉強出来ることは、自分にとって大きな一歩になると思われれますので、精一杯稽古して本番に臨みます。よろしくお願致します。

◆ ◆ ◆  
令和4年3月に研修を修了した研修生が歌舞伎俳優・歌舞伎音楽演奏者としての一歩を踏み出しました。

#### 中村芝桜

(歌舞伎俳優・中村芝蔭門下)

#### 竹本和太夫

(歌舞伎音楽竹本・太夫)

#### 窪田優人

(尾上菊五郎劇団音楽部長唄・三味線方)



柗屋巳喜助



中村芝桜



坂東家之助



竹本和太夫



片岡市也



窪田優人

第28期歌舞伎俳優研修生 10月3日より応募受付開始  
詳細はホームページから



国立劇場養成課

☎ 03-3265-7105 (直通)

✉ kokuritsu-boshu@ntj.jac.go.jp

10時～18時(土日祝日・年末年始を除く)

<https://www.ntj.jac.go.jp/training/trainee.html>

## 「未来へつなぐ国立劇場プロジェクト」始動！

独立行政法人日本芸術文化振興会（以下、「振興会」）が運営する国立劇場は、令和5年10月の公演を最後に閉場し、6年間の再整備期間を経て、令和11年秋に新たな国立劇場として開場する予定です。

今後の事業について、『未来へつなぐ国立劇場プロジェクト』として6月17日に発表しました。同日、初代国立劇場さよなら公演・記念事業のロゴマークを発表、また、振興会ホームページ内に特設サイトを開設しました。

今後の展開に是非ご注目ください！



初代国立劇場  
さよなら公演

## 足立区との連携協力協定を締結いたしました！

振興会は、足立区と連携協力協定を締結しました。

国立劇場再整備期間中の主催公演の一部を足立区文化芸術劇場（以下、「シアター1010」）を優先的に利用し実施することで、足立区民等が伝統芸能に触れる機会を創出し、区民等への伝統芸能の普及等に寄与することを目的としています。

当協定に基づき、国立劇場再整備期間中の文楽公演の一部をシアター1010において、実施します。

6月25日に行った締結式では、近藤足立区長、河村振興会理事長に加え、文楽技芸員の桐竹勘十郎さん、文楽人形も登場し、華やかな式となりました。



## 伝統芸能情報館からのお知らせ

講座

企画展「曾我廼家五郎——「喜劇」の誕生」関連講座

■第84回伝統芸能講座

「喜劇の伝統—曾我廼家喜劇から松竹新喜劇、そして未来へ」

松竹新喜劇で上方喜劇の最前線を走ると同時に、自身の会では曾我廼家五郎作品の復活上演にも取り組む曾我廼家寛太郎氏。展示監修者の日比野啓氏と喜劇の伝統と未来を熱く語ります。

講師 曾我廼家寛太郎（松竹新喜劇）、日比野啓（成蹊大学教授）

日時 令和4年9月17日（土）14時～16時 ※途中休憩あり

場所 伝統芸能情報館3階レクチャー室

受講料 1,000円

募集 100名【抽選】全席指定 応募締切 8月19日（金）

◎応募方法等の詳細はHPをご覧ください。

国立劇場 伝統芸能講座 検索



## 国立文楽劇場からのお知らせ

配信

【国立文楽劇場】文楽プレミアムシアター第6回

往年の名舞台をオンラインでご覧いただけます。どうぞお楽しみに。

演目 「桂川連理柵」六角堂の段・帯屋の段  
（昭和51年3月 国立劇場）モノクロ

出演 竹本越路太夫（四代）、竹澤弥七（十代）、吉田玉男（初代）、  
豊松清十郎（四代）、吉田繁助（二代）他

販売期間 10月1日（土）11時～10月21日（金）23時59分  
※視聴期間は、レンタル日から2週間です。

視聴料金 2,500円（税込） 配信サイト MIRAIL（ミレール）

## 文楽技術職員 髪・床山（アルバイト（正職員登用制度有））募集のお知らせ

日本芸術文化振興会では、国立文楽劇場（大阪）において、文楽公演を支える技術職員を育成するために、人形制作に意欲ある人材を募集します。今回募集する担当分野は「髪・床山」です。未経験の方も応募いただけます。詳しくは当振興会ホームページの採用情報をご覧ください。  
<https://www.ntj.jac.go.jp/recruit>

【髪・床山とは】文楽人形は人間の俳優同様、役柄や場面で髪型や衣裳が変化します。120種類ほどある髪型の中から、公演ごとの役柄と場面に合ったものを選び、髪制作や補修を行い、かしらに取り付け結髪する、かつら師と床山を兼務する仕事です。

## 日本芸術文化振興会ニュース 令和4年8月号

令和4年7月20日発行（毎月1回20日発行）  
通巻649号（昭和43年5月1日創刊）  
発行 独立行政法人日本芸術文化振興会  
〒102-8656  
東京都千代田区隼町4-1  
☎03-3265-7411（代表）  
<https://www.ntj.jac.go.jp>  
印刷 勝美印刷株式会社

- 国立劇場・国立演芸場・伝統芸能情報館  
〒102-8656 東京都千代田区隼町4-1 ☎03-3265-7411（代表）<https://www.ntj.jac.go.jp/>
- 国立能楽堂  
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-18-1 ☎03-3423-1331（代表）<https://www.ntj.jac.go.jp/nou.html>
- 国立文楽劇場  
〒542-0073 大阪府大阪市中央区日本橋1-12-10 ☎06-6212-2531（代表）<https://www.ntj.jac.go.jp/bunraku.html>
- 新国立劇場  
〒151-0071 東京都渋谷区本町1-1-1 ☎03-5351-3011（代表）<https://www.nntt.jac.go.jp/>
- 国立劇場おきなわ  
〒901-2122 沖縄県浦添市勢理客4-14-1 ☎098-871-3311（代表）<https://www.nt-okinawa.or.jp/>

■本誌掲載の公演・イベント等につきましては、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、開催を中止・変更する場合がございます。最新の情報は各ホームページ等でご確認をお願いいたします。  
■本誌面は日本芸術文化振興会のホームページでもご覧いただけます。



「日本博」は、総合テーマ「日本人と自然」の下に、日本の美を体感する美術展・舞台芸術公演・芸術祭などを、年間を通じ、全国各地で展開しています。  
<https://japanculturalexpo.bunka.go.jp>

## 李禹煥—もの派と日本の自然観、そして現在へ

日程：会場 |

8月10日（水）～11月7日（月）：国立新美術館  
12月13日（火）～2月12日（日）：兵庫県立美術館

国際的にも大きな注目を集めてきた「もの派」を代表する美術家、李禹煥（リ・ウファン、1936年生）の大規模な回顧展を開催する。

《線より》1977年 岩絵具、膠/カンヴァス  
182×227cm 東京国立近代美術館



## Japan盆踊りFestival2022～日本の盆踊りと世界の音楽との融合～

日程 | 8月21日（日）

会場 | 池袋西口公園 グローバルリングシアター

千年前から続く盆踊り。全国の盆踊りを改めて体験し、ファッションデザイナー・コシノジュンコ氏プロデュースによる新しい盆踊りを発信するイベント。



## 落陽一×日本フィルハーモニー交響楽団プロジェクトVOL.6 《遍在する音楽》

日程 | 8月25日（木）19時開演

会場 | サントリーホール

「テクノロジーでオーケストラをアップデート」をテーマに、あらゆる人へ芸術体験を提供。オーケストラ音楽を軸に、身体的体験をいま問い直す。



落陽一  
撮影：蛸川美花

## 文化芸術活動を未来へ継承するため、2つの基金にご寄附をお願いいたします！

### ●文化芸術復興創造基金

日本の多彩な文化芸術団体の活動を支援します。「舞台芸術・美術等」「地域文化」「文化財」「映画芸術」を応援できます。

- お問合せ先 基金部企画調査課
- 電話 03-3265-6302（平日10時～18時）
- E-mail kikakuchosa-nt@ntj.jac.go.jp



復興創造基金のご案内ページはこちら！



### ●くろごちゃんファンド（国立劇場基金）

日本の伝統芸能を未来へつなぐ、国立劇場各館を応援！様々な伝統芸能公演や、伝承者の養成、調査研究等を応援できます。

- お問合せ先 くろごちゃんファンド寄附担当
- 電話 03-3265-6719（平日10時～18時）
- E-mail donation@ntj.jac.go.jp



### 寄附日より

令和3年度にくろごちゃんファンド〈能楽〉にいただいたご寄附は、国立能楽堂 令和3年6月能楽鑑賞教室に使用させていただきました！皆様のご支援に心より御礼申し上げます。  
（写真：国立能楽堂 令和3年6月能楽鑑賞教室 能「救生石」高橋亘）

